

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-161	14-008	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）		
Evaluating the effects of a large increase in off-sale alcohol outlets on motor vehicle crashes: a time-series analysis. 持ち帰り可能なアルコール販売店の大幅な増加が自動車事故に及ぼす影響の検討：時系列分析		
執筆者		
Han D, Shipp EM, Gorman DM.		
掲載誌		
Int J Inj Contr Saf Promot. 2014 Apr 22:1-8. [Epub ahead of print]		
キーワード		PMID
飲酒販売方針、酒店、飲酒関連事故、自動車事故、時系列分析		24754515
要 旨		
目的： テキサス州ラボック郡（Lubbock County）では制度変更により、持ち帰り可能なアルコール販売店（off-sale alcohol outlets）が大幅に増加した。このような off-sale alcohol outlets の増加と自動車事故との関連を検証した。		
方法： 全交通事故件数と単一自動車夜間事故（SVN）件数とについて時系列分析を行った。すなわち上記制度変更の前後でラボック郡での事故件数、ラボック郡以外の対照地域での同時期における事故件数を比較した。		
結果・結論： 全交通事故件数において制度変更による若干の影響が見られたが、SVN 件数については統計学的に有意な影響を認めなかった。制度変更と自動車事故との関連が認められなかった理由について、いくつかの考察を加えた。該当地域に少数の off-sale outlets が変更以前から既に存在していたこと、持ち帰り不可のアルコール販売店（バーなど）と比較して off-sale outlets からアルコール購入後すぐに飲酒して自動車を運転するとは考えにくい事、などが考えられた。		